

クリスマス造形～おもしろキャンドルづくり



ねらい

クリスマスの飾りを自分たちで作って
クリスマスツリーを楽しいものにする。
火を扱い、ろうそくを溶かし、型に流し固める～など、
作る行程を経験する。（「型取り」という技術を理解し、
作業を学ぶ。
後で火を灯して楽しむ。

対象

幼稚園年長～小学校高学年

所要時間

1時間ぐらい～

材料

ろうそく（白いノーマルなもの）、たこ糸、
粘土、卵の殻、（ろうそくを流す型用）
ビー玉、ビーズ、毛糸、氷（中にうめたりする）、
クレヨン（色付け用）針金（釣り下げ金具用）
カセットコンロ、いらない鍋、割り箸、紙コップ
トンカチ（ろうそくを割る用）軍手など

作り方

- ①木の板などの上で溶かすためのローソクを
カナヅチで割る。その時、ついていたたこ
糸はとっておく。
- ②粘土をひも状にして、ぐるぐる重ねて好き
な形のうつわをつくっていく。（陶芸の
うつわを作る感じ）そのときひもとひもの
あいだに隙間がないように粘土と粘土をよ
くくっつける。底のところに竹へらで模様
をつける。
*底に模様をつけた場合、底側が上側になるので
竹串などであなを開けて火をつける様のたこ糸を
差し込んでおく。
- ③クリスマスの飾りにするので、つる下げた
時に上側になるところに針金の金具をつけ
ておく。 — の部分



④鍋に水をいれ、火にかけてお湯にしておき、さっき割ったろうそくをボールに入れて、湯せんにかける。とけたら好きな色のクレヨン削ってボールに加える。



⑤（ボールから直接流すのは危ないので）紙コップにとかしたろうそくを入れて各自のうつわに流し込む。固まるまで待つ。（冷蔵庫で冷やし固めてもよい。）



⑥固まって、ろうそくが冷めたら型にしていた粘土をとりはずす。

できあがり！



クリスマスとしての展示

クリスマスツリーに各自が作ったろうそくのオーナメントを飾ります！クリスマスツリーにライトを灯すと、オーナメントが何となく透けて、美しいです。また、クリスマスツリーがない場合、教室の窓に、ひもなどをつけて、そこにみんながつくったろうそくを飾っても美しいです。何となく透けるのがポイント。それぞれで工夫して楽しいクリスマスを演出しましょう！

作業のポイント！～発展

型を取る、ということを理解するために、粘土での型取りをやる前に、卵のパック、卵（小さい穴をお箸などでつついて作り、中身を出して洗って使う）紙コップ、お弁当で使うアルミのうつわ、アルミ箔で作ったうつわなどを使って実験してみるとよい。一度基礎的なものをつくったら、ろうそくを流し込むときは、ビー玉やビーズ、葉っぱ、ハーブ、毛糸、小石、氷（氷の部分が空洞になって、あながいっぱいあいたおもしろろうそくになります！）など入れて、琥珀のようななにかが埋め込まれたろうそくを作ったり、何色も重ねてレインボーろうそくを作ったり、各自のアイデアで応用しよう！（アイデアは言わないでこどもが自分で考えるに取っ掛かりになるような材料を置いておくとよい。）



いろいろ実験してみよう！